

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 17, No. 4

神奈川県立生命の星・地球博物館

Dec., 2011



ホオベニオトヒメハゼ

Vanderhorstia puncticeps (Deng et Xiong, 1980)

KPM-NR 44933, 2011年6月4日

KPM-NR 44939, 2011年6月18日(杵内)

ともに静岡県沼津市大瀬崎, 水深 70 m
御宿昭彦 撮影

みしくあきひこ
御宿昭彦 (静岡県三島市)

せのう ひろし
瀬能 宏 (学芸員)

2011年6月4日、ホオベニオトヒメハゼの水中写真が著者の一人御宿により初めて撮影されました。本種は、東シナ海の中国沿岸で採集された標本を基に、1980年に新種として記載されたハゼ科の魚で、2007年には相模湾産の1個体と土佐湾産の2個体に基づきヤツシハゼ属として再記載され、ホオベニオトヒメハゼという標準和名が与えられました。本種は生息水深が60～123mと深く、これまで生時の体色は知られていませんでした。第1背^{はいき}鰭の先端に朱色

の縁取りがあることで周囲に生息する同属のヒレナガハゼと区別できますが、もうひとつの特徴であり、標準和名の由来ともなった^{さいがい}鰓蓋中央の1朱色斑は濃かったり薄かったりと個体によって差がありました(写真個体では不明瞭)。本種の生態はほとんどわかっていませんが、今回、テッポウエビ類との共生が確認されました(杵内写真)。駿河湾からの記録も初めてとなりますが、もっと深い海底には多数生息しているのかもしれない。